

進路関係行事の紹介

本校では、生徒が自分の進路を考えるヒントとなるような行事が多く行われています。平成27年度からは、10年連続して、青森県教育委員会から「進学力を高める高校支援事業（進学力パワーアッププログラム）」にも指定されています。令和6年度に行った行事の一部を以下に紹介します。

1. 東北地区各大学の見学会

(1) 岩手大学、岩手県立大学見学会（8月6日）

岩手大学オープンキャンパスに合わせて同大学と岩手県立大学の見学を行いました。2学年生徒102名が参加しました。

【参加生徒の感想】

- ・好きな動物や植物について調べるなど、本当に自分の好きな分野について、一生懸命になっていてカッコいいと思いました。自分が興味を持ってそうなものを普段からよく調べておきたい。（岩手大学について）
- ・韓国の学生さんも交えて、多様なジャンルや地域で作られた映画を理論や分析方法を用いて読み解いていく授業が面白そうだった。（岩手大学について）
- ・公認心理師を目指すなら成績も大事になるし、心理学は数学も扱うので文・理関係なく、幅広くできるようにがんばろうと思った。（岩手県立大学について）



(2) 弘前大学見学会（8月8日）

弘前大学のオープンキャンパスに合わせて見学会を実施しました。1学年生徒227名が参加しました。

【参加生徒の感想】

- ・寄生虫や感染症の菌などがどのような被害をもたらすのか、そしてどのような場所で出現するのかさらに学びたくなった。
- ・自分が考えてもいなかった学問に興味を持って、将来なりたい職業についてあらためて考えることになった。
- ・専門的なことを学んでいる学生の皆さんはすごく目をきらきらさせて解説をしてくださって、きっとこの大学は好きなことを追求できるような場所なんだと思いました。



- ・地域社会についてグループで調査してデータをもとに課題の発見と解決をするなど、高校の総探で行う授業ととても似ていたので興味がわいた。
- ・参加する前は理工学部しか興味がなかったが、教育学部での講義が面白くて少し興味を持てた。また、資料館で見学した農学生命科学部の展示も興味深かった。色々な大学で新しい分野を知り、視野を広げていけたらいいなと思う。

(3) 青森県立保健大学、青森公立大学見学会（8月9日）

青森県立保健大学ではオープンキャンパスに参加しました。青森公立大学では、模擬講義と大学についての説明を受け、施設見学を行いました。保健大学には38名、青森公立大学には24名が参加しました。

【参加生徒の感想】

- ・看護学科の中でも保健学コース・助産学コースに進むことができることを知りました。私は助産師になりたいと思っているので助産学コースについてもっと調べたいと思いました。（青森県立保健大学について）



- ・経済学にはあまり興味がなかったのですが、今回の説明を受けたり、模擬講義を受けたりして、意外と面白そうだと感じました。（青森公立大学について）

2 大学出前講義（10月10日）

大学での学びを体験し、自分の関心と学問の関連を知ることが目標に、大学の先生をお招きして講義を行っていただきました。令和6年度は、弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、北海道教育大学、公立はこだて未来大学、青森県立保健大学、青森公立大学、宮城大学に参加していただきました。2学年の生徒全員が参加しました。



【参加生徒の感想】

- ・色々な種類のロボットに実際に触れながら、そのロボットの仕組みや実際に使用されている場所を知ること、工学がいかに人の役に立つのか、またそのおもしろさについて学ぶことができ、理工学への関心もより深めることができました。
- ・少子高齢化が進む中で、医療にも多く変化があり、時代に合わせた構成になっているのだと学ぶことができました。
- ・「価値」の付け方により、評価が変わる仕組みについて理解することができました。時代は巡ると言うけれど、それはその時代での希少なモノへの価値の変化が関連しているのかなと考えました。

3 職業研究

(1) 看護出前授業(7月26日)

青森県看護協会から現役の看護師の方に来校していただき、①看護職の仕事、②看護職への道について話していただきました。1学年5名、2学年15名、3学年13名が参加しました。



【参加生徒の感想】

- ・「人のために仕事ができる看護師になりたい」と漠然と思っていましたが、どんな看護師になりたいか、例えば老年看護や成人看護など、何の分野に興味が引かれるかなど、もっと自分自身や自分の進路と向き合っていかなければいけないと思いました。
- ・地域包括ケアの背景として少子高齢化が問題となっていることや、多職種連携では顔の見える関係が重要だと分かりました。

(2) 介護出前教室(7月25日)

八戸市内の特養老人ホームの職員さんと福祉用具貸与サービスを行っている企業の方に来校していただき介護出前講義を行いました。内容は①介護についての講義、②福祉用具体験（電動車いす、介護ロボット、パワースーツ）、③高齢者疑似体験でした。1学年1名、2学年17名、3学年9名が参加しました。



【参加生徒の感想】

- ・介護について大変さや負担の大きさをイメージしていましたが、介護職のやりがいや楽しさを知りました。直接人に関わって、人を助ける、未来に必要な職業だと実感しました。
- ・体力勝負だと思っていたけれど、実際に介護する側もされる側も体験して、どちらにも負担のかからない本当の介護を知れたような気がします。

(3) 学習支援ボランティア (7月29,30日、8月7,8,9日)

八戸市内の小学校（吹上小学校、柏崎小学校）を生徒が訪れ、小学生に対する学習支援ボランティアを行いました。内容は夏休みの宿題の手伝い等で、小学校教員からも取組を高く評価していただきました。1学年38名、2学年39名、3学年9名が参加しました。



【参加生徒の感想】

- ・（高校生の）友達に教えたりするのは全然違い、わかりやすい言葉を選ばなければならなかった。そのためには自分自身もその内容をしっかりと覚えて理解しなければならないと感じた。
- ・問題を理解させることの難しさを感じた。どこでどう間違ってしまったのかを考えさせ、気づかせるには、教える側の工夫が必要であることを学んだ。